

日進市指定文化財(令和5年3月31現在)

指定番号	名前	分類	指定年月日	年代	備考
1	臥龍の松	天然記念物	昭和55年3月4日	樹齢300年	市内唯一のクロマツの巨木。
2	白山古墳	史跡	昭和56年12月11日	6世紀後半と推定	天白川の沖積平地を経済基盤として力を蓄えた有力豪族の墳墓と考えられる。当時市内に現存する唯一のもので、当時の生活を物語る貴重な史跡。
3	天地社	建造物	昭和58年4月13日	元禄2年(1689)	県による調査で県下で30番目に古い建造物。
4	天地社狛犬	彫刻	昭和58年4月13日	宝永2年(1705)	宝永2年(1705)制作。松の寄木造りで、緻密彫刻。
5	妙仙寺山門	建造物	平成3年11月25日	寛政5年(1793)	地方の寺の門で楼門にしたものは珍しく、寺を立派に見せるために作られたと察せられ、その点が評価できる。地方の歴史を伝える上からも保存の道を講ずることが望ましい。と評価された。
6	香久山古窯 (岩崎45号窯)	史跡	平成21年3月6日	平安時代初期	天井部を除いて完存した窯体が保存公開され、猿投窯岩崎地区を代表する窯跡であり、平安時代初期の窯業生産の一端を後世に伝える。
7	岩藤天王祭山車 (チョウチングルマ)	有形民俗	平成21年3月6日	明治24年(1891)制作	三河地方と尾張地方など多方面からの影響を受けて成立し、他ではみられない独特の形態。日進市内唯一存在が確認される山車であり、尾張東部の天王祭りの山車としても民俗的に貴重。
8	鳥 鈕 蓋	有形文化財 美術工芸品 (考古資料)	平成24年2月21日	奈良時代末～平安時代	4点とも、平成10(1998)年に発掘調査が行われた折戸84号窯跡(日進市米野木町仲芝)から出土した。鳥類の意匠が施された装飾性の高い製品で、従来の出土例から平瓶の蓋と考えられている器種である。
9	陶印	有形文化財 美術工芸品 (考古資料)	平成24年2月21日	平安時代	鈕は弧鈕有孔で、印文は判読しがたく記号である可能性が指摘されている。昭和54(1979)年に、発掘調査により出土した。平成23年3月現在、愛知県内において確認されている陶印は4点であり、希少な出土例である。
10	陶印	有形文化財 美術工芸品 (考古資料)	平成24年2月21日	平安時代	鈕は剣先型無孔で、2条の突帯がある。頂部から両側の突帯に向かって、円孔がうがたれ、外面には印面の上下を示す「上」「下」の文字がへら書きされている。規格により私印に属する。印文は陰刻で判読しがたいが、「両村」または「壽」または「専」と読むと考えられている。昭和56(1981)年に、発掘調査により出土した。
11	聖人塚	史跡	平成25年3月6日	不明(1,752年成立の『張州府志』等に記述あり)	「聖人塚」は、江戸時代の地誌である『張州府志』(1752年成立)、『尾張御行記』(1822年成立)、『尾張志』(1844年成立)に記述があり、市にとって歴史上及び学術上重要な文化財(有形文化財)である。また、昔、僧が鈴(れい)をもち、「音がしなくなったら、入定(にゅうじょう・死去)したと思ってくれ」と言い残して生きながらにこの塚へ入定したと言い伝えがある(「日進村誌」1956年)
12	鳥鈕蓋(折戸110号窯跡出土)	有形文化財 美術工芸品 (考古資料)	平成31年3月13日	奈良時代末～平安時代初め	2点とも、平成29(2017)年に発掘調査が行われた折戸110号窯跡(日進市米野木町南山)から出土した。鳥類の意匠が施された装飾性の高い製品で、従来の出土例から平瓶の蓋と考えられている器種である。

国登録有形文化財(令和5年3月31現在)

指定番号	名前	分類	指定年月日	年代	備考
1	旧市川家住宅	建造物	平成25年12月24日	江戸時代後期	市内唯一の国登録有形文化財。